

地域の健康を支える人材育成による ウェルビーイング向上事業

保健学研究科
園田 悠馬



「医学部へ行こう」地域の中高生を対象とする医療人材育成事業

令和元年度から豊岡市や洲本市などの県内の医療過疎地域の高校に教員を派遣し、医療職の魅力伝えるセミナーを開くなど、医療系職種を目指す人材を育て地元に着定させる

「医学部へ行こうプロジェクト」を行ってきた。今年度は三田市の中高生を対象に同様の事業を開始した。

豊岡市 兵庫県立豊岡高等学校/近畿大学附属豊岡中学校/豊岡市立出石中学校

豊岡市と公立豊岡病院組合と連携して医療系人材養成プログラムを継続し、高等学校だけでなく中学校において、医療の未来やチーム医療を支える職種等について講義を行った。また、豊岡高校生5名が保健学研究科でサイエンスツアーとして2日間の研究体験した。

令和6年度人材養成プログラム：豊岡高校

- 大学教員による講義
- 福祉用具アイデアコンテスト（レポート）
- サイエンスツアー（保健学研究科）
※TV取材された（右図）
- 医療系ディベート



洲本市 兵庫県立洲本高等学校

令和4年度の本事業に参加した高校生のうち2名が保健学研究科へ進学した。今年度は「医療を目指す君たちへ」をテーマに出張講義を行った。今年度末には、医療系ディベート（右図：昨年度）と探求発表会へ参加予定。



三田市「Sanda Career Campus」

市内の中高生とその保護者を対象に地元で「医療で働く」キッカケとなることを目的としたイベント（右図）を開催。医学部教員の講演、「医療のお仕事」体験ブース、そして医学・保健学大学院生らのパネルディカッションが行われた。



市内の高等学校 × 医学研究科・保健学研究科

保健学研究科にて三田市内の4つの高等学校からの合同ツアー「Medical Day」も企画。

複数地域の医療系人材不足に対して地域連携を進めていく基盤が整った

今年度より三田市において医療系人材育成促進事業が開始された。次年度も各市との連携を継続・強化していく。将来的には雇用機会の創出などの地域活性化も期待できる。

- 高校生を地域医療場面に動員することなど計画している。本学の学生も本事業に参加することで次世代の地域医療を見据えることができ、地域医療の魅力を経験する機会づくりを目指す。